

桐蔭学園小学校

【理事長】 溝上 慎一

【校長】 森 朋子

〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 TEL 045-972-2221(直通) <http://toin.ac.jp/e/e/>

【交通】 東急田園都市線あざみ野駅・市が尾駅・青葉台駅、小田急線柿生駅よりバス（スクールバス発着 江田駅、柿生駅）

だれもが未来のリーダーに！ マナビを科学する学校

「自ら考え 判断し 行動できる子どもたち」を育てる

桐蔭学園では、単に大学に進学させる進学校ではなく、学園を巣立った後もしっかり学び、力強く仕事・社会に出ていく子どもを育てることを「新しい進学校のカタチ」と称して目指しています。

進化を続ける12年間の一貫教育

小学校では見える学力の向上だけに注力するのではなく、点数化できない主体性や協調性、行動力、リーダーシップといった非認知能力を育むことが重要だと考えます。本学園の12年間の一貫教育では、児童期に非認知能力をしっかり育み、人間形成の基礎をしっかりつくることで、中等に進んでから知識を深め、資質、能力を大きく伸ばし、個性ある豊かな人間へと成長していきます。

【アクティブラーニング型授業】「主体的で対話的な深い学び」を取り入れています。教師が一方的に知識伝達をする講義型の授業ではなく、児童が主体的・対話的に取り組む学習形態を積極的に展開しています。

【探究】思考力や問題解決能力を育みながら、何事にも一生懸命にチャレンジしようとする心、最後まで諦めずに全力で向かう気持ちを大切にしています。

【キャリア教育】他者と協働できる力を磨き、自らの力を生かして、身近な集団や社会がよりよくなるよう行動できる人材を目指します。

6つのコンピテンシーを身につけるためのプログラムを実践

偏差値主義的な古い価値観を排し、これからの実生活や実社会に必要な資質・能力である6つのコンピテンシー（思考力・創造力・チャレンジ力・メタ認知力・思いやり・エージェンシー）を身につけるためのプログラムを実践しています。

【シンキングツール】自分の考えを整理したりまとめたりする際に、視点や具体例などを魚の骨の形をした図に書き込んで整理する「フィッシュボーン」など、さまざまなシンキングツールを用いて考えを深めます。

【1人1台のタブレット端末】主体的に学べるだけでなく、オンデマンドとリアルオンラインの講座を通じて学習指導要領を超えた学びにも挑戦しています。

【キリリン講座】オンラインでJAXAのスタッフやフライトアテンダントの方のお話を聞いたり、パラバスケでメダルを獲得した選手と交流を図ったり、自分の興味があるものを選ぶようになっています。



沿革

1964年、学校法人桐蔭学園設立、桐蔭学園高等学校（男子校）開設。1966年に中学校（男子校）、1967年に小学校、1969年に幼稚園開設。その後、女子部（中高）、桐蔭横浜大学（工学部）が開設され、本格的な総合学園として確立。さらに2001年、中等教育学校（男子校）開設。

大学では1993年に法学部、2005年に医用工学部、2008年にスポーツ健康政策学部を開設。

そして2014年、学園創立50周年を機に教育改革をスタート。

2018年、高等学校が共学化、2019年には中学校（男子部・女子部）と中等教育学校を中等教育学校に一本化し、男女共学化。

2024年度募集要項

試験日：

2023年10月18日（水）一般入試／男子

2023年10月19日（木）一般入試／女子

2023年11月1日（水）アドベンチャー入試

募集人員：

一般入試／男女約60名（男女各30名程度）

アドベンチャー入試／約10名

選考内容：

一般入試／知能テスト・行動観察（一斉活動・自由遊び・児童面接）

アドベンチャー入試／行動観察 ※知能テスト及び児童面接はなし

保護者面接：

一般入試／事前に来校

アドベンチャー入試／入試当日

募集要項閲覧開始：

2023年5月15日（月）

※Web出願のみ、クレジット決済のみ

※顔写真はデータアップロードのみ（貼付不可）

※予定が変更になる場合があります。

その際は学園公式Webページにてお知らせいたします。

併設中学進学状況

◆桐蔭学園中等教育学校（男子41人、女子36人）

データバック

◆児童数579人／教員数43人

◆23年度志願者数

アドベンチャー入試／男女51人

一般入試／男子303人、女子163人

◆合格者数

アドベンチャー入試／男女10人

一般入試／男子43人、女子54人

【併設校】

○桐蔭学園幼稚園 ○桐蔭学園中等教育学校

○桐蔭学園高等学校 ○桐蔭横浜大学

上級学校に進むには

本校6年児童の中等教育学校への内部進学については、ご家庭からの希望に対し、一定条件に基づいて小学校が推薦を行います。その推薦内容を基に中等教育学校が入学の可否を判定します。

“子どもたち中心の学び”で6つの力を育もう

校長 森 朋子

自分で考え、行動し、仲間を支えられ、失敗をも経験しながら目標に向かって前進する、そのような経験を積み重ねることで子どもたちは「生き抜く力」を身に付けます。桐蔭学園小学校は、これまで以上に子どもの学び中心主義を押し進め、子ども自身が深く考え、それらを発信することを教育の基盤に据えていきます。そのために、新たに学校教育目標下に育成すべきコンピテンシー（資質・能力）として「思考力」「創造力」「チャレンジ力」「メタ認知力」「思いやり」「エージェンシー」の6つを設定しました。一人ひとりの子どもたちの個性ある豊かな成長へ中等教育学校とも連携しながら桐蔭学園として「21世紀を生き抜く子どもたち」を育みます。